

あさがお



気温の高い日が続いています。お家の方には、汗拭きタオルの用意をしていただき、生活習慣のひとつとして汗を拭くという習慣も身につけています。

園では、周りに同年齢の子どもがいて、言葉を掛けあいながら生活を進められる楽しさがあります。これらの共通の経験をひとつひとつ積み重ねていくことがとても大切だと思います。共通の経験は、やがて人と心地よくつながりあうことにつながっていきます。その心地良さは、自分や他者を大切に思う気持ちへと変わっていくはずです。人間関係を構築していくうえで、かけがえのない貴重な共通の体験が楽しめるように教育環境を整えていきたいと思います。

6月より暑さ指数を確認して運動量を調節しています。

～ももっこ信号を合言葉に～

全学年がそれぞれの目標をもち、運動に取り組んでいます。

近年は、気温の高い日が多く户外での運動ができない日もあります。户外で身体を動かせない時は、広いホールを使って身体づくりを行います。6月中旬より園のプールにて毎日のように楽しい水遊びを展開しています。



直線やカーブを走る（4歳児）



よじ登る・次の人は前の人を見て動く



握る・ぶら下がる・タイミングを図る

【生活に関係の深い情報や施設などに興味や関心をもち、生活の豊かさにつなげる】

気候変動により少し早い時期でしたが「ももっこ信号」を導入しています。子どもたちが自分たちで進んで生活を送れるようにするための視覚支援教材です。

幼稚園のプール横に「ももっこ信号」が出ています。子どもたちは、その信号の色を見て、暑さ指数の危険時には、部屋に戻ったり、色で確認して大丈夫であると判断した場合は、户外で遊んだりしています。最近では、友だち同士で声を掛け合って生活を進めている姿も見られるようになりました。

単に正確な知識を獲得することを目的とするのではなく、環境の中でそれぞれがある働きをしていることについて実感できるようにすることが大切だと思います。



ももっこ信号（全園児共通理解）

身近な事象や動植物に対する感動を伝え合い、共感し合うことなどを通して
自分から関わろうとする意欲を育てる

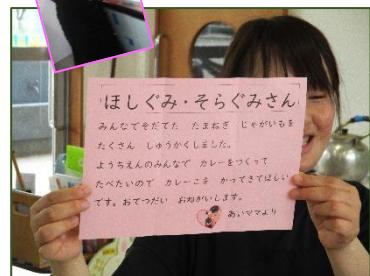
日々の栽培活動も続けて、たくさんの野菜を収穫して喜びを共有しています。



収穫した野菜は、「作る責任・使う責任」を子どもたちなりに考え相談しました。

ある日、あいママから手紙が届き、カレーパーティーが始まりました♡

「ありがとう。」



年長組さんへ手紙が！？



カレー粉の買い物へ



「何しに行ってたの？」



「あいママ！買ってきたよ。」



「これぐらいの量でいいかな。」



「つるつるになってきた。」



野菜の下ごしらえ



靴底の消毒をして入室



「うわあ、いいにおい。先生たち、ありがとう。」



「カレー最高！」



野菜バザー（5歳児）

幼稚園教育では、親しみやすい動植物に触れる機会をもつことを大事にしています。教師など周囲の人々が世話をする姿に接することを通して、次第に身近な動植物に親しみをもつようになります。実際に子どもたちが世話をすることによって、いたわったり、大切にしたりしようとする気持ちが育まれていきます。幼児期にこのような生命の営み、不思議さを体験する過程を大事にしていきたいと思います。

5歳児を中心にして、収穫した野菜を使ってカレーパーティーを楽しんだり、調理の過程を見て身近な人に感謝の気持ちをもったり、驚くほど美味しいと感じたりした共通体験は、子どもたちの心地のよいつながりに発展したと思います。このような直接体験をこれからも続けていきたいです。